

事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	新田原飛行場関連公共用施設 (交通施設：矢生町清水線外1) 整備事業						
補 助 事 業 者 名	西都市長						
実 施 場 所	宮崎県西都市大字三宅字尾筋東下外						
補助事業の成果の目標	市道 矢生町清水線外1は、県道高鍋高岡線と地区とを結ぶ、地区住民の重要な生活道であるが、未改良で幅員が狭く（現況幅員：3.2m）、車両の離合も困難な部分があり通行に支障を来たしている。 このため、未改良部延長85.6mを幅員5mの道路改良拡幅工事を実施し、道路整備を行うことで交通の円滑化と住民の利便性の向上を図ることを目標とする。						
補助事業の内容	道路改良 L=85.6m						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 14,100,000	円	円	円	円	円 14,100,000
	交付金額	13,000,000					13,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	地元アンケート調査を実施したところ「子どもの通学路なので安心できるようになった。」等、利便性が向上したという声が得られており、補助事業の成果を果たせた。また、地元説明会及び工事中看板並びに市HPに防衛省補助調整交付金事業である旨を説明、記載した。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設 (交通施設：上園権現原線) 整備事業						
補助事業者名	西都市長						
実施場所	宮崎県西都市大字童子丸字槇ノ内						
補助事業の成果の目標	上園権現原線は、童子丸地区の避難所である供用施設、また消防詰所を通る市道であるが、現況幅員が約3.0mと狭く車両の離合も困難な部分があり、一般車両及び緊急車両の通行に支障を来している。このため、これらの施設がある区間71mの道路改良拡幅工事を実施し、道路整備を行うことで住民の利便性の向上を図ることを目標とする。						
補助事業の内容	道路改良 L=71m						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 8,110,000	円	円	円	円	円 8,110,000
	交付金額	6,403,000					6,403,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>地元アンケート調査を実施したところ「車のすれ違いができるようになった。」等、交通の円滑化が図れたという声を得られた。また、消防へ聞き取りを行ったところ「活動の際、車両がスムーズに進入できる」との意見であり、補助事業の成果を果たせた。</p> <p>周知については、地元説明会及び工事看板並びに市HPに防衛省補助調整交付金事業である旨を記載、説明した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	新田原飛行場関連公共用施設 (教育文化施設：椿原地区集会施設) 整備事業						
補助事業者名	西都市長						
実施場所	宮崎県西都市大字南方2174番地4						
補助事業の成果の目標	本施設は建築後30年以上が経過し、老朽化が進んでいるため、本整備を行うことで、快適に利用できる施設を提供し、地域住民が集会やイベントを容易に開催することができ、良好な地域コミュニティを形成することで、同地区の生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	椿原地区集会施設の建設 木造平家建 A=84.84㎡						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度	年度	年度	年度	年度	計
	事業費	円 16,574,996	円	円	円	円	円 16,574,996
	交付金額	13,000,000					13,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	地域住民の集会やイベント開催及び地域コミュニティの形成の場として快適に利用でき、バリアフリー化により高齢者にも安全な集会施設が整えられた。 地区住民へアンケート調査を実施したところ、「安全で快適に利用できる。」等の意見が多く寄せられ、目標の達成に寄与することができた。 また、集会施設のスロープに防衛省調整交付金助成事業で整備した旨記載したプレートを設置し、利用者に周知を図っている。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						